

施策No.	政策名	快適な暮らしのまちづくり	主管課	下水道課	主管課長名	島田 晴朗
5-5	施策名	下水道の整備	関係課	生活環境課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
	市民	①桜川市人口	見込値	人		41,278	41,008	40,738	40,467	40,197	
実績値						41,278	40,483	39,692	38,905	38,422	
②桜川市世帯数			見込値	世帯		13,700	13,684	13,668	13,652	13,636	
						実績値	13,700	13,660	13,695	13,717	13,502
			見込値								
						実績値					
施策の意図		成果指標名	単位	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度		
										①生活排水処理普及率	%
快適で衛生的な生活環境で暮らしている。			②公共下水道普及率	%		目標値	15.70	15.80	15.90	16.00	16.10
						実績値	15.8	16.0	16.2	16.1	16.5
	③桜川の水質(BOD)(市内の最下流「地蔵橋」地点)	mg/L			目標値	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
					実績値	2.3	1.4	1.2	1.1	0.9	
	④公共下水道接続率 農業集落排水接続率	%			目標値	54.0	56.0	58.5	60.0	61.5	
					実績値	53.47	56.67	58.59	60.08	63.73	
	⑤公共下水道使用料収納率 農業集落排水使用料収納率	%			目標値	98.80	98.80	98.80	98.80	98.80	
					実績値	97.65	97.65	97.65	97.65	97.65	
						98.78	98.75	96.52	99.47	99.15	
						97.56	97.86	97.61	99.02	98.90	
成果指標設定の考え方	○「快適で衛生的な生活環境で暮らしている」の指標については①生活排水処理普及率の指標が上がれば成果が上がると考えられる。 ○「公共水域の水質汚濁防止」について、桜川市内の最下流「地蔵橋」地点の水質(BOD)で見る。(基準値2.0mg/L)										
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の人口、世帯は、毎年10月1日の常住人口。 ○①生活排水処理普及率、②公共下水道普及率、④公共下水道接続率・農業集落排水接続率は、生活排水ベストプランより求める。⑤公共下水道使用料収納率・農業集落排水使用料収納率は、過去の実績より求める。										

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景・要因	<p>生活排水処理普及率は、令和2年度69.7%、令和3年度67.4%と2.3ポイント減少した。 公共下水道を対象とする下水道普及率は、令和2年度16.1%、令和3年度16.5%と0.4ポイント増加した。 桜川の水質については、令和2年度1.1mg/L、令和3年度0.9mg/Lと0.2ポイント成果が向上した。 公共下水道接続率は、令和2年度60.08%、令和3年度63.73%と3.65ポイント増加した。農業集落排水接続率は、令和2年度83.90%、令和3年度85.25%と1.35ポイント増加した。これらの要因として、公共下水道・農業集落排水とも、接続工事費補助金の成果によるものと思われる。 公共下水道使用料収納率は、令和2年度99.47%、令和3年度99.15%と0.32ポイント減少した。農業集落排水使用料収納率は、令和2年度99.02%、令和3年度98.90%と0.12ポイント減少した。 まとめて、接続率が向上し、収納率は減少したが目標値は達成している。 接続率については、工事費補助金の成果があり向上している。 収納率については、接続率の向上と徴収業務委託が主な要因と考えられる。</p>		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景・要因	<p>生活排水処理普及率は、令和3年度目標値が70.0%に対し、67.4%と2.6ポイント下回った。 公共下水道普及率は、令和3年度目標値が16.1%に対し、16.5%と0.4ポイント上回った。 桜川の水質(BOD)は、令和3年度目標値が1.1mg/Lに対し、0.9mg/Lと0.2ポイント上回った。 公共下水道接続率は、令和3年度目標値が61.5%に対し、63.7%と2.2ポイント上回った。 農業集落排水接続率は、令和3年度目標値が84.0%に対し、85.2%と1.2ポイント上回った。 公共下水道使用料収納率は、令和3年度目標値が98.8%に対し、99.15%と0.35ポイント上回った。 農業集落排水使用料収納率は、令和3年度目標値が97.65%に対し98.90%と1.25ポイント上回った。 まとめて、接続率・収納率が目標値より向上した。</p>		

3. 施策の成果実績に対しての総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対しての総括	今後の課題・方針
<p>施策の目指す姿の実現に向けた取り組みの中で以下の事業が大きく貢献したと考える。 公共下水道整備事業及び汚水処理施設整備計画見直し事業は、関連性があり富士見台地区1.78haの整備を行い、16.49%と下水道普及率が向上した。 公共下水道普及促進事業についても、県と合同で接続推進活動を行うなど接続率63.73%と前年比3.65%向上した。</p>	<p>下水道事業の効率的で健全な事業運営に努め、以下の取り組みを重点的に行う。 公共下水道事業・農業集落排水事業とも接続工事補助金の周知、推進活動を行い接続率の向上を図る。 汚水処理施設整備計画見直し事業の中で、今年度は生活排水ベストプランの見直しがあるため最適な排水計画等検討していく。</p>